

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～ 19：30）
------------------	-----	--------------------------

1．初期支援（初めのかかわり）	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野
-----------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	11人	1人	0人	0人	12人

前回の改善計画

新規利用時、職員は良く観察しプランの変更が必要な場合は、速やかにサービスの変更ができる

前回の改善計画に対する取組み結果

職員間での連携がよくとれており、変化があった際は、ケアマネや管理者に伝え、サービスの変更をスピーディーにすることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	12	0	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	12	0	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	11	1	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	11	1	0	0	12

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 通所で通えない利用者は定期的に訪問し、職員にまずは慣れてもらい通所に繋げている。
- 本人が慣れるまでは声かけを多くし、利用者同士が話しやすくできるよう職員が間に入り話題を提供している。
- 家族に連絡帳やLINE（写真添付）でどのように過ごしているかを見えやすくし伝えている。
- プラン変更はケアマネを中心とし素早く対応ができており、また職員にも共有することができている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 変更の際は送りノートや朝の会で共有するが、周知するまでには時間がかかっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
周知するまでには時間がかかるため、引き続き送りノートや朝の会で共有し、ケアマネ・管理者等が随時、職員に声をかけ伝えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～ 19：30）
2.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7	4	1	0	12

前回の改善計画	・ケアマネが作成している目標ファイルを職員がみれる時間を取り、目標に達成していない利用者に対しては定例会議でカンファレンスを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・定例会議でカンファレンスすることはできているが、業務に追われてしまいファイルをみている時間がない。 ・目標は日々の関わりの中で対応することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	8	3	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	7	4	1	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	8	3	1	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	8	3	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の「～したい」を聞いた場合は更衣室にある送りメモに記載し、希望が叶えられることから実行している。 ・目標に対して本人の気持ちを尊重し前向きな気持ちになれるように声かけをしている。 ・送りノートや定例会議、朝の会等で成功例や失敗例を伝え、振り返りができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個人個人の目標ファイルをみれる時間が取れない。 ・登録利用者一人ひとりの目標を把握しきれていない。 ・希望を伝えられない利用者に対しての「～したい」が聞き取れていない。 ・～したいがすぐに達成できない（現実的でない）場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・再度、登録利用者一人ひとりの目標は定例会議の議題にあげ、全員が把握し支援できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 28 日 (18 : 30～19 : 30)
3. 日常生活の支援	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	8	3	1	0 人	1 2 人

前回の改善計画	ご自身から意思を表現できない方に対しては、些細なことでも職員間で共有し、その人らしく過ごすためにはどのようにしたら良いかを考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員は利用者一人ひとりの観察がよくできており、会議等で共有することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	7	2	3	0	1 2
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1 0	2	0	0	1 2
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1 0	2	0	0	1 2
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1 1	1	0	0	1 2
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1 1	1	0	0	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 認知症や言語障がい等で自分の意思を表現できない方は「YES/NO」でわかりやすく答えられるよう、工夫している。 - 新規利用者はケアマネから以前の暮らしについて聞き取りし職員に共有している。 - その日の本人の状況は普段から良くスタッフがみれており、いつもと違う様子にいち早く気づくことができ、看護師や管理者等に伝えて対応することができている。 - その日の気持ちや体調の変化にも合わせ看護師と介護職が共有し支援をすることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
以前の暮らし方については、人によって踏み込んでよいのか迷い積極的に聞けないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
信頼関係を構築し、その人の以前の暮らし方を普段の会話から把握していく。また、聞き取れた情報は職員間で共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	8	3	1	0	12

前回の改善計画	これまでの生活スタイルを理解し、スタイルに添った支援をするにはどのようにしたらよいか、また難しい場合は今までの生活を大きく変えることのないように支援するにはどのようにしたらよいのかを考え実行する。
前回の改善計画に対する取り組み結果	- 積極的に会話し、今までどのような生活をしてきたのか、その利用者の歴史を把握し、また職員間で共有することができた。 - 行きつけの美容院は？近所の仲の良い方は？等、日々の会話でキャッチすることができた。また、自宅に帰る際には近所の方に声かけするなどした。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	7	4	1	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	9	3	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	8	3	1	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	8	4	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 送迎時や訪問時に積極的に近隣の方にも挨拶し顔なじみの関係ができている。 - 民生委員の把握はケアマネが中心となり連携を図っている。 - 利用者が自宅にいる際は、電話し（何をしていたか？食事はとったか？困ったことはないか等）を積極的に安否確認をしている。 - 行きつけの美容院や近所の買い物、地域のイベント等に参加することができており、地域との交流を図っている。 - 自宅にいる際に散歩へ出かける利用者に対して、ルートを確認し、他利用者送迎時や職員出勤時などに歩いていないか確認をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人のADL低下等があった際は、地域との関係性が積極的に持てなくなる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
外出が難しくなった利用者に対しては、近所の公園などを職員と散歩したり、地域のイベントに参加していき地域との関係性が途絶えないようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	11	1	0	0	12

前回の改善計画	・今後も個々の支援について、緊急時のニーズのプラン変更等、利用者や家族に丁寧に伝え理解してもらい協力をしてもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	・退院時は連泊し様子をみる事が多く、登録利用者の宿泊ニーズが希望に添えなくなる場合がある。ケアマネや管理者が丁寧に伝えているが、それぞれの希望があるため調整が難しい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	11	1	0	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	11	1	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	11	1	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	12	0	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・緊急の宿泊があった際、他の利用者に予定を変えて自宅に戻ってもらう場合があるが、その際は隣近所の方や管理人の方に連絡し、自宅に帰る旨を伝えている。 ・日々の変化があった場合は、すぐに職員間で共有し、また家族にも電話やLINE等の手段で連絡し共有することができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・急なニーズに対して利用者に優先順位をつけて利用してもらうが、家族の希望や一人暮らしの方の支援も多く調整が難しい場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・引き続きニーズを把握し、利用者本人・家族に理解と協力をしてもらい「宿泊」「通所」「訪問」のプランを組み合わせしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
6. 連携・協働	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10	2	0	0	12

前回の改善計画	・引き続き感染予防に注意をしながら、地域との関わりを多くもっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ボランティアに対しては体調管理と施設に訪問時の手洗い消毒、うがい等の感染予防を徹底してもらい、たくさんの方が関わりをもってくれた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	9	3	0	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	9	3	0	0	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	10	2	0	0	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	9	3	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・毎年地域の子供たちがハロウィンのイベントに来てくれている。利用者が普段関われない子供たちとの交流が楽しそうである。 ・定期的に傾聴ボランティアが来所し利用者の方の話を聞いてくれている。 ・自治会のイベントには積極的に参加することができている。（夏祭り・落葉感謝祭・防災フェスタ等） ・ケアマネ・管理者・看護師等でサービス提供会議に参加している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・担当者会議や地域の会議は特定の職員が関わっている為、介護職員に伝わりづらい。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・担当者会議や地域の会議に参加した際は、定例会議等で内容を介護職員に報告し、施設・地域全体を全員で共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
7. 運営	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	10	2	0	0	12

前回の改善計画	運営推進会議の際に前もって職員の意見を聞くとともに、会議終了後は定例会議等で話し合った内容を職員にも共有し、地域の一員として職員全員が考えられるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進委員会で話し合った結果は、定例会議等で職員に報告し、共有することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	9	3	0	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	9	3	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	10	2	0	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	9	3	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 利用者や家族からの苦情については、確認を迅速にして苦情報告書をあげ職員間での再発防止の徹底をしている。 - 日頃から近隣とのコミュニケーションを図り、意見を言いやすい関係性をつくっている。 - 年始には近隣1件1件訪問して挨拶回りし、意見を聞くようにしている。 - 定例会議では事前に議題にしたいこと（困っていること等）を職員に確認し、職員一人ひとりが意見を言える場を作っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
些細な要望・苦情が聞き取れる環境づくりができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者や家族の要望や苦情が伝えやすいよう、無記名で一年に一度アンケートの実施を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
8. 質を向上するための取組み	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7	5	0	0	12

前回の改善計画	BCP を職員全員でマニュアルを把握し、実際の訓練につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員全員で BCP 訓練を実施することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	9	3	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	10	2	0	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	10	2	0	0	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	10	2	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・リモートでの研修も含めて、レベルにあった研修に参加することができた。また、会議の場で学んだことを発表し、職員全員が勉強することができた。 ・ヒヤリハットや事故報告は日々ファイルで共有し、朝のミーティングや会議で話し合い再発防止に努めている。 ・地域連絡会等は、ケアマネや管理者が参加している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ヒヤリハットや事故報告について全員で、確認はするが再発してしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・危険を察知（転倒リスク等）した場合は、すぐに送りノートや口頭で伝え、職員で共有し事故をなくしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年11月28日（18：30～19：30）
9. 人権・プライバシー	メンバー	松崎・貫洞・伊藤・菅野・渡邊・小島・菅原・平井 大越・川又・菱沼・内野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 1	1	0	0	1 2

前回の改善計画	・定例会議やまた研修で認知症の方の対応、適切なケアはどういうことなのかを理解し、不適切な声かけがあった際は、風通しよく職員間で指摘できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・認知症利用者の問題行動があった際に、介護者側の立場で考えてしまうことがあった。その際は、職員間で声をかけし、支援にあたることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	1 1	1	0	0	1 2
②	虐待は行われていない	1 2	0	0	0	1 2
③	プライバシーが守られている	1 0	2	0	0	1 2
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1 1	1	0	0	1 2
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1 1	1	0	0	1 2

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人情報やプライバシーの内容が漏れないように、申し送り等は、利用者に聞こえない場所でおこなっている。 ・身体拘束・高齢者虐待委員会を発足し、同法人事業所と合同で会議を行い適切なケアは何かを共有し確認している。また、会議の後は、全職員が共有できるよう定例会議で報告し、検討することができている。 ・成年後見制度はケアマネを中心に必要な場合は家族と活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護者優先の声かけになる。（時間優先等）	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き介護者優先の不適切な声かけをなくしていく。	

令和 7 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社セルフピーイング	代表者	松崎 泉	法人・事業所の特徴	保土ヶ谷区境木本町の住宅地に開設して、13 年目を迎えました。登録人数は 25 名。事業所の 2 つの理念である、利用者の歴史を大切にし、気持ちに添ったサポートをすること、利用者ご家族の立場にたって物事を考え、その人らしく生き活きと過ごせるようにサポートすることをスタッフ全員が心がけ、家庭と変わらない環境で、居心地のよい場となるように日々努めています。現在スタッフの 80%以上が介護福祉士・実務者研修の資格を持っています。様々な状況のご利用者に対応するため、介護技術、接遇技術の向上に努めています。
事業所名 保土ヶ谷区	小規模多機能しおり 境木	管理者	松崎 泉		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4 人	人	1 人	1 人	人	3 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所内に改善計画を掲示し、職員全員の目にする機会を増やし、計画を取り組んでいく。	事業所内に掲示はしているが、職員全員は取り組めてはいない。	利用者がしおりの中だけではなく地域の住人として生活できるよう努力をしているので良いと思う。	自己評価の結果を職員間で共有する。課題や改善点を定例会議で検討しサービスの質の向上につなげていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議メンバー等が事業所に気軽に訪問できるよう（行事のボランティア等）、声をかけていく。	傾聴ボランティアや慰問等、たくさんの方が事業所に訪問してくれた。	近所の声で職員が感じ良く接しているという声を聞いた。	利用者が家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせるよう、清潔保持や季節感のある展示し、快適な生活環境づくりに取り組んでいく。
C. 事業所と地域のかかわり	AED 設置事業所であることを、近隣に知ってもらい、いざという時に貸出ができるよう、職員も研修を重ねる。	しおり便りで AED の貸し出しができることを掲載し、日頃から職員が点検をすることができた。	今後も近所には、しおりに AED 設置があるというアピールをするように。頼りにしている。	掲示板にしおりの活動がわかるようしおり便りを掲示するとともに利用者の作品等も飾っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	普段から近隣に挨拶し、利用者以外の地域の心配な方にも積極的に声をかけ、困りごとを察知できるよう心掛ける。	職員は積極的に挨拶している。また、管理者が近隣一軒一軒訪問し意見や要望を聴きとっている。	他の事業所で近隣を訪問しているところは聞いたことがない。とても良いことだと思う。	民生委員や近隣の交友関係等を把握し、利用者が一人で自宅にいる際も安心して生活ができるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議等で、地域での取り組みを把握し一緒に取り組んでいく。	会議では地域との情報を共有し、様々なイベントに参加することができた。	会議やしおり便り等で利用者の様子がよくわかり細かくキャッチしていることに感心する。	地域住民や関係機関からの意見等は定例会議で共有し、職員全体で取り組んでいく。

F. 事業所の 防災・災害対策	地域 8 連合拠点防災訓練の際、事業所も参加する。	地域の防災フェスタに地域の利用者と一緒に参加することができた。	地域防災拠点・境木小学校地区防災フェスタに参加してくれて、いざという時の備えてくれていると思う。	避難訓練や BCP 訓練し、備蓄の消費期限の確認や必要な物品を再点検していく。
--------------------	---------------------------	---------------------------------	--	---

